

2024.03.13

福岡37会

九重山麓（男池、白水鉱泉、靱山神社、清滝）の

ユキワリイチゲ、アズマイチゲ、フクジュソウ、サバノオ



ユキワリイチゲ  
(雪割一華)  
キンポウゲ科



アズマイチゲ  
(東一華)  
キンポウゲ科



フクジュソウ(福寿草)  
キンポウゲ科



サバノオ(鯖の尾)  
キンポウゲ科



2024/03/13 8:20  
四季彩ロードからの涌蓋山(わいたさん)1500m



大船山(たいせんざん)1786m

平治岳(ひいじだけ)1643m

2024/03/13 8:39  
ぐるっとくじゅう周遊道路

# 雪景色



黒岳1587m

大船山(たいせんざん)1786m

2024/03/13 8:40  
ぐるっとくじゅう周遊道路



ぐるっとくじゅう周遊道路  
Gurutto Kuju Exursion Route

2024/03/13 8:40



2024/03/13 8:49  
男池(おいけ)駐車場870m



2024/03/13  
8:55



2024/03/13 8:57  
男池清掃員詰所

## 黒岳原生林

人間の影響を受けない自然のままの森林を「原生林」といいます。原生林は、文明の発展とともに急激に姿を消し、日本でも数少なくなっています。ブナやカエデ類を中心とする原生林に被われ、黒岳は、21世紀に残したい日本の自然100選、(昭和58年1月)に選ばれた貴重な自然です。この美しい自然を大切にして、いつまでも後世に伝えたいものです。

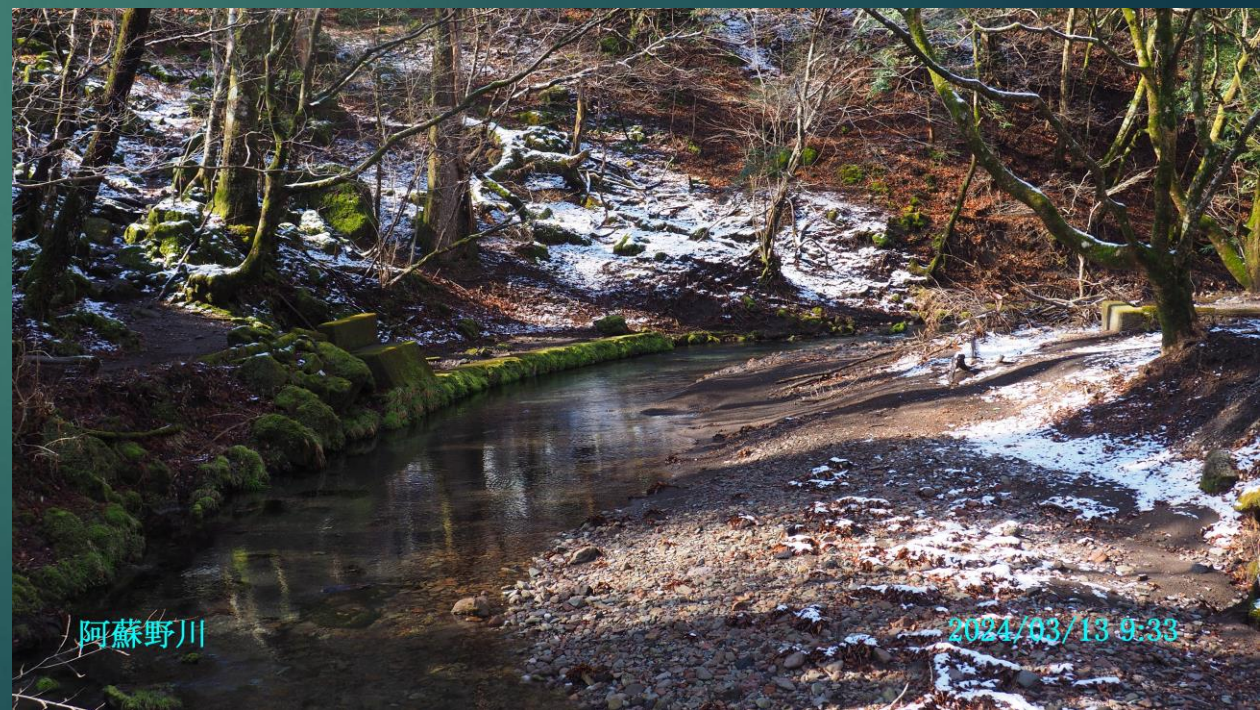
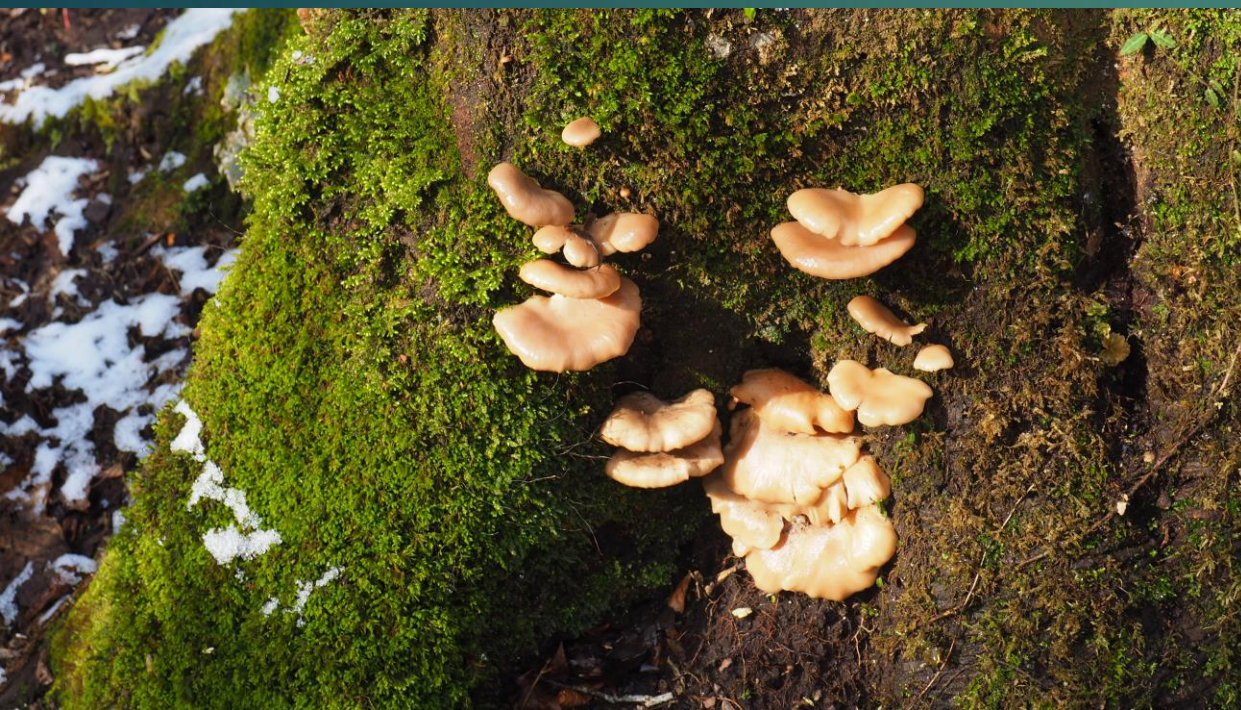


2024/03/13 9:04

2024/03/13 9:20  
男池(大分県由布市庄内町阿蘇野)



2024/03/13 9:31  
男池(大分県由布市庄内町阿蘇野)



阿蘇野川

2024/03/13 9:33



2024/03/13 9:38  
59分の行動時間



2024/03/13 9:48

白水鉦泉(しらみずこうせん)大分県由布市庄内町阿蘇野



ミズバショウ(水芭蕉)  
サトイモ科



ミズバショウ(水芭蕉)  
サトイモ科





ミズバショウ(水芭蕉)  
サトイモ科



ツルシキミ(蔓柢)  
ミカン科 常緑低木



カタクリ(片栗) ユリ科



2024/03/13 10:07  
白水鉱泉

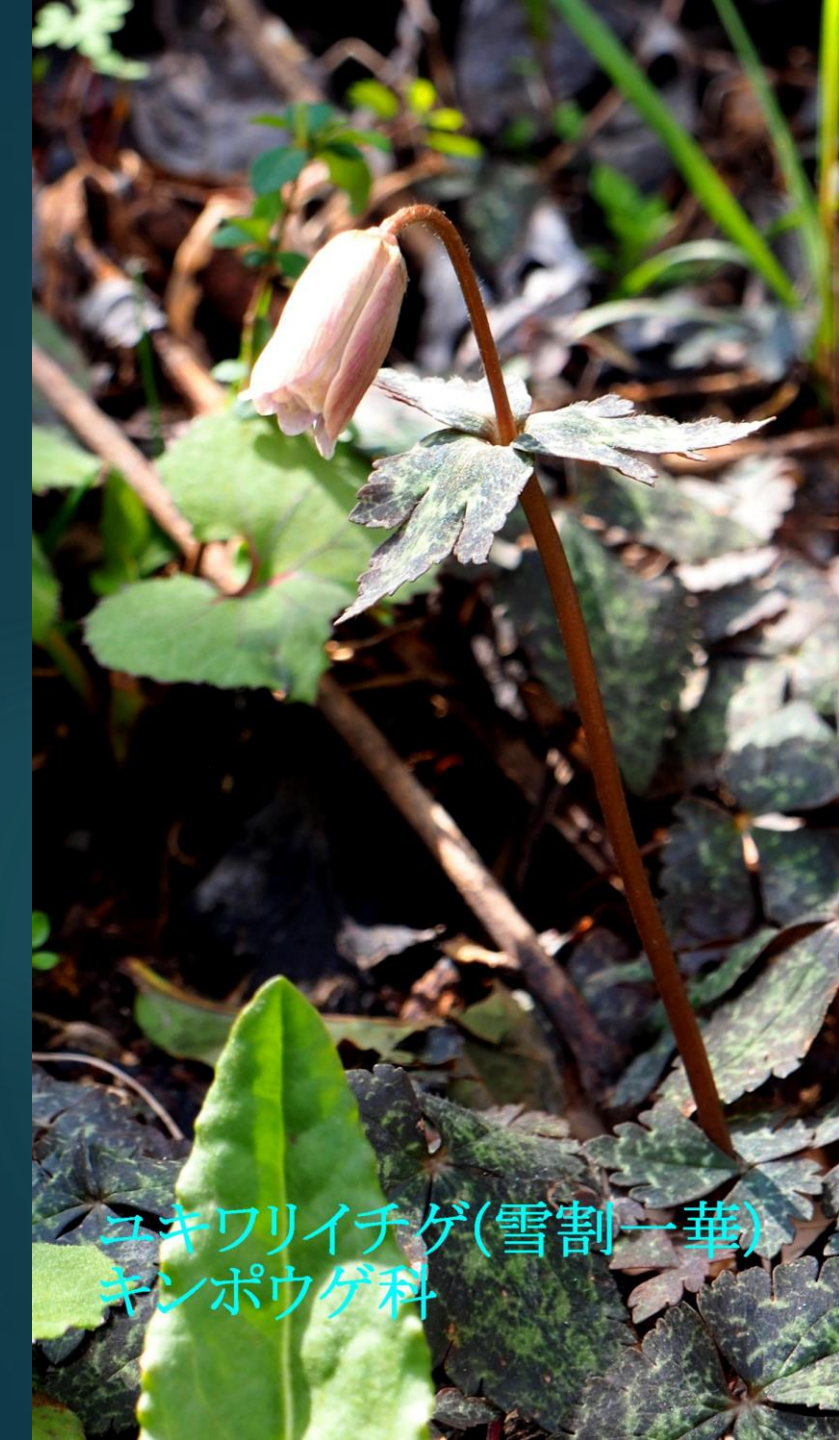
黒岳1587m



2024/03/13 10:08  
白水鉱泉



2024/03/13 10:09  
白水鉱泉(しらみずこうせん)大分県由布市庄内町阿蘇野  
21分の行動時間



ユキワリイチゲ(雪割一華)  
キンポウゲ科



フラサバソウ オオバコ科  
ヨーロッパ原産の外来種



ツクシ(土筆)  
トクサ科

平治岳(ひいじだけ)1643m

黒岳1587m

2024/03/13 10:17

大船山(たいせんざん)1786m

黒岳1587m

平治岳(ひいじだけ)1643m

糸山神社駐車場からの  
九重連山

2024/03/13 10:45



ヒメオドリコソウ  
(姫踊子草)  
シソ科



ホトケノザ(仏の座)  
シソ科



オオイヌノフグリ(大犬の陰囊)  
ゴマノハグサ科



キンセンカ(金盞花)  
キク科  
別名:カレンデュラ、  
ポットマリーゴールド



ハナダイコン(花大根)  
アブラナ科  
別名:諸葛菜(しょかつさい)、  
紫花菜(むらさきはなな)

# ■ 靱山八幡社の天然記念物 ■

古くから信仰を集めてきたここ靱山八幡社は、景行天皇が熊襲討伐の折に御祈願をしたことが『日本書紀』に記されている。中世にはこの地域を納めていた朽網氏、近世には岡藩主中川氏により崇敬されてきた。その歴史を物語るように、境内には樹齢数百年から千年とも言われる多くの巨木がそびえ、鎮守の森が形成されている。

県指定天然記念物

## 靱山八幡社の大ケヤキ

指定年月日 昭和18年7月13日

参道の奥、石段の前に生育している当神社の御神木である。この大ケヤキには大小無数のコブがあり、最も大きいものは地上約1mのところ、高さ2m、幅3.9m、厚さ1.1mを測る。また、枝分かれしたところには数種類の宿り木が寄生している。コブ上の幹囲約9m、コブ下幹囲約11.3mの九州を代表する大ケヤキである。



市指定天然記念物

## 靱山神社のスギ並木

指定年月日 昭和55年3月8日

正面の鳥居と参道石段の両側に生育している8本が市の指定となっている。最も大きいもので胸高直径約5mを測る。



市指定天然記念物

## 靱山神社の二又ケヤキ

指定年月日 昭和55年3月8日

本殿の東側に生育しており、約7mのところ、枝分かれしている。分岐点には、グミ・サカキ等が寄生している。



2024/03/13 10:50



2024/03/13 10:52  
大スギ

# 大スギ





ユキワリイチゲ  
(雪割一華)  
キンポウゲ科



ユキワリイチゲ(雪割一華)  
キンポウゲ科



カテンソウ(花点草)  
イラクサ科



ユキワリイチゲ(雪割一華) キンポウゲ科



ヤマドリソウ(山瑠璃草)  
ムラサキ科



アマナ(甘菜)  
ユリ科

# 二又ケヤキ

## 直入町指定天然記念物

名称 叡山神社の二又ケヤキ

The Forked zelkoba in the Momiya shrine

この二又ケヤキの特徴は、主幹地上7mのところ  
で分かれていることで、分岐点には スギ、グミ、  
サカキ、イチヨウなどの木々が寄生している。  
幹囲5.5m、枝張り東西38.7m、南北20m、樹高20m  
樹齢四百年は更に超すと推定される。

指定 昭和55年 3月 日  
直入町教育委員会 平成 6年 10月 日

「特別だめ」言うのは簡単、心から

長小 8年 安部 純平



市指定天然記念物

叡山神社の二又ケヤキ

2024/03/13 11:22  
二又ケヤキ





2024/03/13 11:26  
糴山神社 (大分県竹田市直入町)



ジャノヒゲ(蛇の髭)  
ユリ科



スズシロソウ(蘿蔔草)  
アブラナ科

ウバユリ(姥百合)  
ユリ科



フウロケマン  
(風露華曼)  
ケシ科



フウロケマン(風露華曼)  
ケシ科



# 杣山八幡社の大ケヤキ

# 大ケヤキ

この大ケヤキは、熊襲征伐の伝説にゆかりの深い杣山八幡社の御神木です。

根元は西側のほうが高くなっていますが、この根元から一メートル付近に縦幅二メートル、横幅三・九メートルの大きなコブがあり、その上部の幹囲は八・九五メートル、コブ下根元の幹囲は十一・二五メートルに達しています。

また、根張は東西八・五メートル、南北八メートルに、枝張は東西四十七メートル、南北三十八メートルにそれぞれ及んでいる。

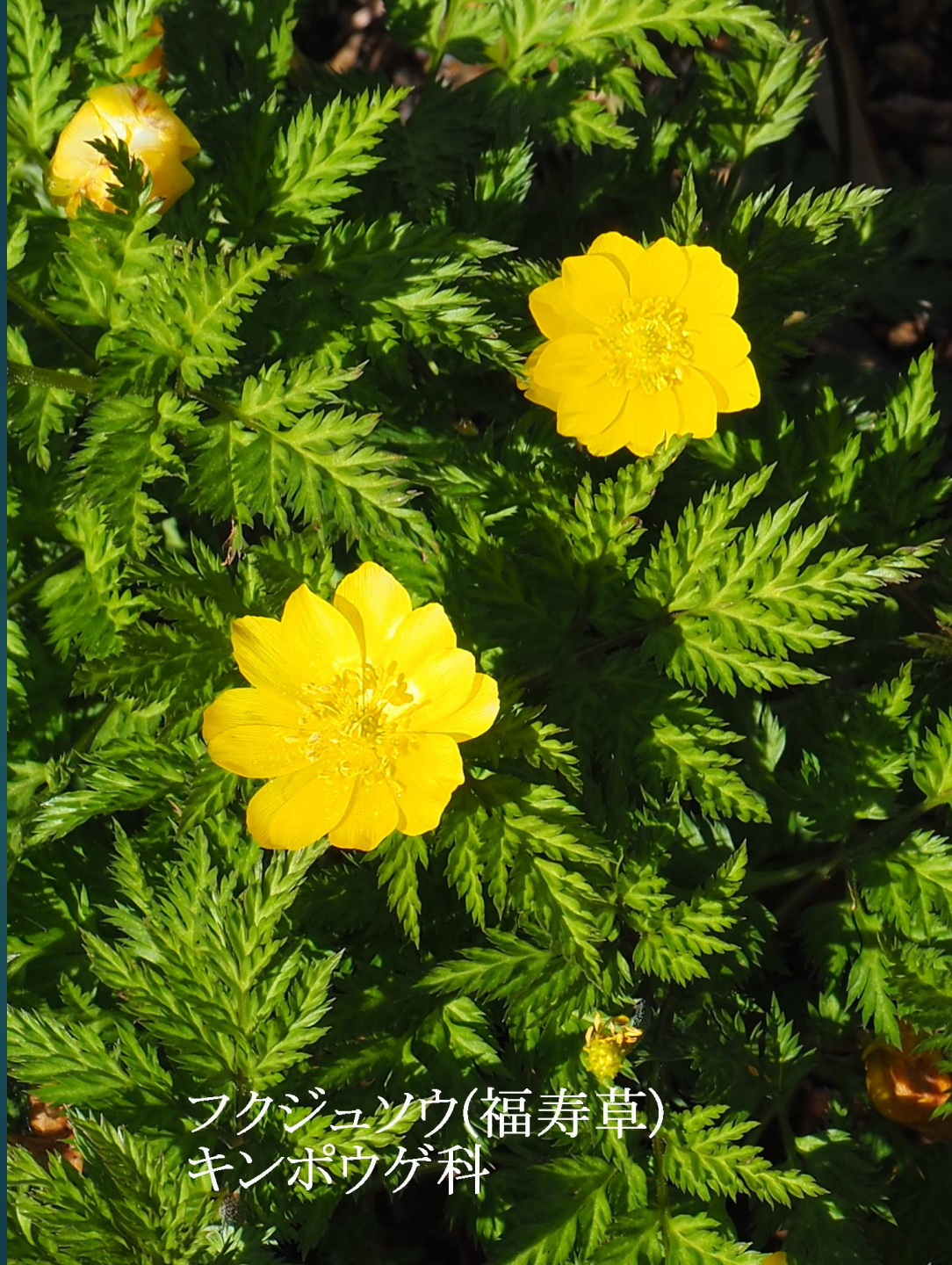
この大ケヤキ樹令八〇〇年から一〇〇〇年といわれる九州第三位の巨木ですが樹勢は今なお盛んです。昭和十八年七月県指定天然記念物となっています。

直入町・直入町観光協会









フクジュソウ(福寿草)  
キンポウゲ科



フクジュソウ(福寿草)  
キンポウゲ科

アズマイチゲ(東一華)  
キンポウゲ科





アズマイチゲ(東一華)  
キンポウゲ科



アズマイチゲ(東一華)  
キンポウゲ科



アズマイチゲ  
(東一華)  
キンポウゲ科

2024/03/13 12:55  
清滝駐車場



ハシリドコロ



ハシリドコロ(走野老)  
ナス科 全草有毒




ハシリドコロ(走野老)  
ナス科 全草有毒



ハシリドコロ(走野老)  
ナス科 全草有毒



サバノオ(鯖の尾)  
キンポウゲ科

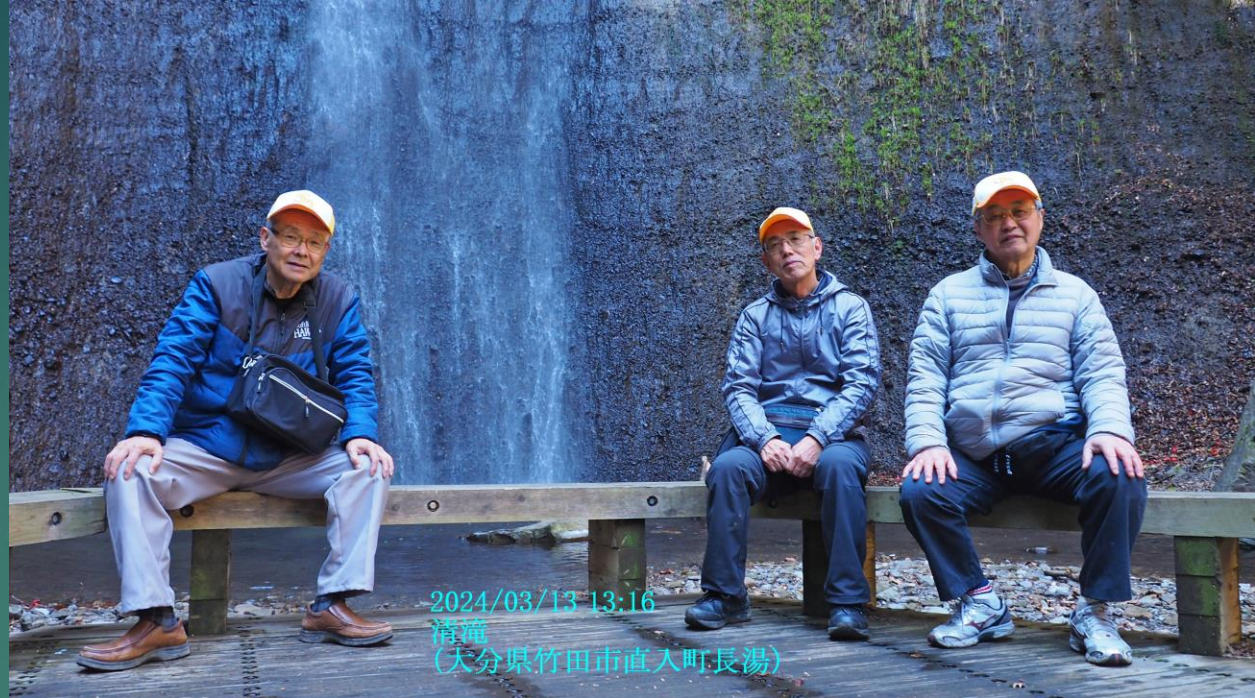
A close-up photograph of a Sabano-o (鯖の尾) plant. The plant features several small, white, five-petaled flowers with prominent yellow stamens. The leaves are dark brown, lobed, and have a papery, almost translucent appearance. The plant is growing from a bed of dry, brown leaves and twigs. The background is softly blurred, showing more of the forest floor.

サバノオ(鯖の尾)  
キンポウゲ科





ヤマアイ(山藍)  
トウダイグサ科



2024/03/13 13:16  
清滝  
(大分県竹田市直入町長湯)



2024/03/13 13:13  
清滝  
(大分県竹田市直入町長湯)



END

2024/03/13 13:28  
清滝駐車場に戻る  
33分の行動時間